

令和6年度 不老町地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

□ 地域の現状と今後の方向性

地域の現状について ※人口統計は2023年3月現在

不老町地域ケアプラザの担当圏域は5つの連合町内会に寿地区と非常に広域となっており、人口は約53,733人で、そのうち0歳～14歳は、3,429人（6.38%）、15歳～64歳は38,231人（71.15%）、65歳以上は12,073人（22.47%）となり、高齢化率は中区全域23.60%を下回っています。一方で高齢者独居世帯数は市域平均2,007世帯に対し7,680世帯と市域で最も高く、さらに居宅介護サービス利用者数においても非常に高くなっていることから、介護を必要とする住民ニーズは明らかであり地区別にみると各地区の特徴が窺えます。

石川打越地区

人口4,407人、0歳～14歳が291人（6.60%）、15歳～64歳が2,953人（67.01%）、65歳～が1,163人で高齢化率は26.39%と中区平均に比べ2.79%高くなっています。

住宅地、商業地として発展してきた地区で、親しみやすい下町風情が感じられます。古くから住んでいる住民が多いこともあり、地域の結びつきが強く、町内会と商店会が協力し地域活動が活発に行われています。また急な勾配の坂が多いこともまちの特徴となっています。地域では、スイーツ会や健康給食会、ふれあいサロンをはじめ、町内会単位での活動や、敬老観劇会の開催など住民活動が盛んに行われています。

第一北部地区

人口9,523人、0歳～14歳が649人（6.82%）、15歳～64歳が7,089人（74.44%）、65歳～が1,785人で高齢化率は18.74%と中区平均に比べ4.86%低くなっています。

野毛山の裾野と大岡川に沿った地域で、赤門町から桜木町駅までの細長い地区です。古くからの商店街があり、人情味ある下町と新しい街並みが融合しているほか、野毛大道芸などのイベントで活気に満ちています。地区の活動は活発で、「町の安全パトロール」などの防犯活動や「高齢者ふれあい給食会」等が開催され、住民主体で活動が行われています。

第一地区中部

人口13,814人、0歳～14歳が812人（5.88%）、15歳～64歳が10,475人（75.83%）、65歳～が2,527人で高齢化率は18.29%と中区平均に比べ5.31%低くなっています。

横浜開港から港に続く散歩道として親しまれる商店街を中心に、様々なイベント等で、町は活気にあふれています。外国人が多く暮らしており、国際色豊かな一面もあります。単身世帯が総世帯の7割を占め、単身世帯総数は、中区で一番多くなっています。地域の活動では、「夏休みラジオ体操」、「職業体験」などの行事のほか、クロスストリートを中心とした住民活動が始まりました。一方で担い手の世代交代は進み、新しい形での取り組みが進んでいます。

関内地区

人口7,323人、0歳～14歳が753人（10.28%）、15歳～64歳が5,395人（73.67%）、65歳～が1,175人で高齢化率は16.05%と中区平均に比べ7.55%低くなっています。

横浜開港からの歴史ある街並みが魅力で観光スポットも点在します。官公庁街やオフィス街がある一方で、近年高層マンションが建築され、住民が増えています。高齢者の割合は17.1%と区内では一番少なくなっています。また、出生時から住んでいる住民の割合は少なく他の地域から流入してきた住民がほとんどです。住民の多くはマンション、集合住宅に居住しているほか、今後も新たな集合住宅の建設が予定されており、人口、世帯数とも増加傾向が続くと思われます。地区の活動は活発で、「まちのクリーンアップ大作戦」や「いきいきルンルン」といった催しが継続されているほか、20年ぶりに地区の老人クラブ「関内シニアクラブ」が立ち上がるなど、地域に勢いが感じられています。

埋地地区

人口12,418人、0歳～14歳が839人（6.76%）、15歳～64歳が9,210人（74.17%）、65歳～が2,369人で高齢化率は19.08%と中区平均に比べ4.52%低くなっています。

今から約350年前の干拓事業により埋め立てられた地であることが、名前の由来になっています。集合住宅と商業系ビルが立ち並び、交通の便は良く平地で暮らしやすいまちです。近年、町の再開発が活発で、町の新たな魅力が醸成されようとしています。また外国人の数は3,647人と区内で一番多くなっています。地域活動も「ラジオ体操」や「埋地さろん」といった行事のほか、「餅つき大会」の再開、新事業「わくわくランド」の開催など、地域活性化に向けた取り組みが幅広く行われています。

寿地区

人口6,248人、0歳～14歳が85人（1.36%）、15歳～64歳が3,109人（49.76%）、65歳～が3,054人で高齢化率は48.88%と中区平均に比べ25.28%高くなっています。

寿町を含む約0.06km²の範囲に120軒以上の簡易宿泊所が密集している地域で、約5,700人が宿泊しています。高度経済成長期には労働者達の街で賑わいましたが、住民の高齢化とともに、福祉ニーズの高いまちへと変容し、高齢化率は50%近くを推移し、類を見ない高齢化が進んでいます。地域の活動は自治会や地区内の団体が積極的に活動されており、「ことぶきゆめ会議」をはじめ「防災訓練」等といった住民支援が行われています。また、寿町健康福祉交流センターなどの公的施設も充実し、町の魅力を発信するほか、町の交流・居場所の拠点としての機能を有しています。

今後に向けて

私たちは魅力ある地域との関係性を最も重要なものと位置づけています。

この「つながり」からみえる各地区の地域特性を踏まえた上で、人と人との交流、商店会や地元で活躍する企業、関係機関などの「人財」と、人々の支え合いや思いやりの力で行われている地域活動による「社会資源」、これら「今ある地域力」を最大限に発揮できるよう、私たちは地域に寄り添っていきます。

☐ 今年度の重点的な取組		
新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	地区連合町内会議や民児協などの会合に参加し、幅広い対象者の施設であることや、出張で相談・講座の開催ができることなど、地域ケアプラザの機能について定期的に説明・発信していきます。また、外国籍の方や障害児・者の支援についての事業を展開しネットワーク構築に取り組みます。
☒	☐	地域の担いをはじめ、公共施設や企業、商店会やプロスポーツクラブ、大学等の幅広い地域資源が集まり、情報共有・協働することで、「広く住民を対象にする」取り組みと、「対象者を限定した」取り組みを進めていきます。これにより、より多くの住民が地域活動に参加する機会を創出していきます。
☒	☐	中区子育てネットワークにおいて、令和6年度は石打地区・関内地区を中心にネットワーク推進を図ります。中心となる住民、担い手の声に寄り沿った協議、取り組みの場を持つとともに、関係機関からの発信とフィードバックを促していきます。
☒	☐	認知症サポーター養成講座をはじめ、VRコンテンツを活用した体験会をとおして、地域の方々に認知症になっても暮らし続けられる地域について考えていく機会を設けていきます。 また、福祉専門家であるケアマネジャー向けの新たな支援として、サポーターを中心とした支援者が、認知症の人やその家族の見守りや支援をおこなうために組まれる「チームオレンジ」と協働し、認知症の知識を専門職ならではの視点で深めるための研修を行います。
☐	☒	地域住民や担い手が課題と捉える個別ケースを選定し、地域ケア会議を効果的に活用することにより、地域や関係機関で課題意識を共有します。把握した地域課題は毎月開催している所内の共有会議のほか区役所や社協とも共有・検討し、課題に応じて包括レベル・区レベルの地域ケア会議に繋げていきます。
◆ 事業報告・事業実績評価		
☐ 振り返り		
令和6年度は、2024年、元旦に能登半島地震が発生し、大規模な土砂災害などにより、たくさんの方々の生活に苦しい状況が続きました。こうした状況に鑑み、これまで築いてきた地域住民や地域資源の輪を広げ、防災・減災への取り組みをはじめ、新たなチャレンジと幅広いネットワークを築いた1年となりました。 地域の身近な福祉・保健の拠点として、その有する役割を理解し、先ず地域ケアプラザの機能を広く周知することに重点を置き、各地区の会合をはじめ地域活動への参加をとおし広報活動を展開しました。さらに外国籍の方への支援、障害がある方への支援を充実するため、関連する機関との協働事業を積極的に展開する中で広報活動にも注力し、世代や文化の垣根を超えた方々へケアプラザの情報を届けることができました。 子ども・親子への支援に向けて「中区子育て支援ネットワーク」のメンバーを軸に、地域の担い手の方々の協力で「清掃活動」をとおした交流や「SNS」を活用したアンケートに協力し、子育て支援の充実に取り組みました。 認知症が社会問題となる中で、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し、担当圏域内にある薬局や郵便局、民間企業を対象に、認知症サポーター養成に取り組み、一人でも多くの方へ認知症への理解を深めていただく機会をつくりました。さらに「チームオレンジ」事業の実施に取り組み、認知症の人やその家族の支援ニーズにあった仕組みづくりに努めました。 個別や地域課題の解決に向けて、「地域ケア会議」をツールとして活用し、個別から包括レベルのケア会議を開催しました。開催中は参加者の方より忌憚のない意見交換が述べられ、個別ニーズや地域ニーズを様々な立場の方々と共有したことで、緩やかな見守り支援の輪を広げることができました。 総合相談窓口では、支援に困難を要する相談が多く、速やかな対応や慎重な判断が求められる事例もあり、チームメンバーがスキルを向上させるための教育やトレーニング(事例検討など)を実施し、個人としてもチーム全体としても成長につなげることができました。		
☐ 区からのコメント		
高齢者の単身独居世帯が多く、複合的な課題を抱えた方からの相談が増えていますが、各職種がスキルを活かしながら、関係機関と連携して対応いただいています。 地域の課題の解決に向けては、エリア内の事業所を含む様々な地域資源を効果的に活用して、多世代・多文化の住民を巻き込んだ各種事業を展開いただいています。 引き続き、地域の福祉保健活動ネットワークの要として、地域の皆様の安心を支える拠点としてよろしくお願い致します。		

令和6年度不老町地域ケアプラザ事業計画書・報告書（施設運営、介護保険事業）

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について （事故防止、個人情報保護等）
取組計画	地域の身近な相談窓口として、相談者の意思を尊重し、住民・地域団体・事業者に対し、公正・中立な立場で業務にあたる。事業者の選定等に当たっては、一覧表などの資料を活用しながら複数の選択肢があることを提示し、適切な支援・情報提供に取り組む。	あらゆる事故に対する危機意識を常にもって業務に取り組む。個人情報の漏えい事故を含めた重大な事故を防止するため、定期的に研修を実施するなどの対策を講じるとともに、重大な事故に至ってしまう可能性や事故の一手手前の事例に対しヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有し、業務改善に努める。
実績	特定の立場や利益に偏らず、公平で中立的な判断や行動を行うことを理解し、利用者の意思や人格を尊重し、特定の事業者やサービスに偏らない公正・中立な立場で支援にあたりました。	法令や規範を遵守しながら、事故を未然に防ぐための研修やコミュニケーションを実施し、事故防止に取り組みました。個人情報の収集・利用及びその管理について、「横浜市個人情報の保護に関する条例」及び法人規定に基づき、個人の権利利益を侵害することのないよう適切な取扱いに取り組みました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者本人が望む生活の実現に向け、その達成に必要なフォーマル・インフォーマルサービスを主体的に利用し、目標達成できるよう支援に取り組む。	包括支援センターが併設する強みを生かし、多問題を抱えたニーズ等にも応え得る居宅介護支援を目指す。「自立支援」を基本に計画を作成し、公的サービスをはじめ、インフォーマルな地域資源を活用した支援に取り組む。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準（厚生労働省告示第百二十九号）及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準（厚生省告示第二十号）に基づく金額 【その他料金】
職員体制	管理者 1名 包括兼務職員 5名	管理者 1名 介護支援専門員 2名
契約者数	518人	49人

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	（介護予防）認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	機能訓練機器の導入による、介護予防効果を実現するとともに利用者の意向を尊重した、安全・安心のサービスに努め、その人らしい「自立」を支援する。		
実施体制	【実施日数】 祝日を含む日曜日から土曜日の週7日（年末年始12/29～1/3を除く） 【提供時間】 午前9時30分～午後4時30分 【定員】 35名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準（厚生省告示第十九号）及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額 【その他料金】 食材料費 750円	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準（厚生労働省告示第百二十六号）及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準（厚生労働省告示第百二十八号）に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準（厚生労働省告示第百二十六号）に基づく金額 【その他料金】
職員体制	管理者 1名 相談員兼介護員 4名 介護員 8名 看護師兼機能訓練指導員 7名		
契約者数等	【延べ利用者数】 8,300人 【契約者数】 97人	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

**【参考資料2－1】 令和6年度「横浜市不老町地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞**

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,291,570	2,300,101	21,591,671	21,447,671	144,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）		19,000	19,000	20,000	△ 1,000	受託事業収入(公費)
雑入	1,793,000	△ 1,540,000	253,000	18,839	234,161	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
その他	15,000		15,000	13,400	1,600	八洋より横浜市目的外使用料、お祝金
介護保険事業より繰入	1,778,000	△ 1,540,000	238,000	5,439	232,561	
その他	△ 2,430,000		△ 2,430,000	△ 144,000	△ 2,286,000	夜間戻入金
収入合計	18,654,570	779,101	19,433,671	21,342,510	△ 1,908,839	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,261,000	575,000	13,836,000	12,515,769	1,320,231	
本俸	10,257,000	575,000	10,832,000	10,288,375	543,625	職員給与・賞与、非常勤職員給与、派遣職員
社会保険料	1,501,000		1,501,000	1,245,017	255,983	
手当計	1,398,000		1,398,000	804,105	593,895	
健康診断費	8,000		8,000	18,756	△ 10,756	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	83,000		83,000	127,001	△ 44,001	
その他	14,000		14,000	32,515	△ 18,515	
事務費	1,786,000	0	1,786,000	967,698	818,302	
旅費	4,000		4,000	1,760	2,240	
消耗品費	599,000		599,000	463,245	135,755	事務消耗品
会議随い費	0		0		0	
印刷製本費	0		0		0	
通信費	234,000		234,000	219,229	14,771	電話料金、郵送代 他
使用料及び賃借料	0	0	0	8,400	△ 8,400	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
その他			0		0	
備品購入費	561,000		561,000		561,000	多目的ホール椅子入替
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	15,241	△ 5,241	
職員等研修費	17,000		17,000	0	17,000	研修に伴う交通費
振込手数料	30,000		30,000		30,000	
リース料	131,000		131,000	35,350	95,650	AEDリース、複合機リース代 他
手数料	10,000		10,000	5,163	4,837	残高証明書代
地域協力費	2,000		2,000		2,000	
その他	188,000		188,000	219,310	△ 31,310	パソコンソフト等保守、コピーカウンター料金
事業費	402,000	0	402,000	193,360	208,640	
運営協議会経費	10,000		10,000		10,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	390,000		390,000	193,360	196,640	
その他	2,000		2,000		2,000	
管理費	5,463,000	0	5,463,000	5,137,222	325,778	
光熱水費	3,400,000		3,400,000	3,455,380	△ 55,380	
清掃費	209,000		209,000	179,572	29,428	
機械整備費	70,000		70,000	71,829	△ 1,829	
設備保全費	1,679,000	0	1,679,000	1,364,773	314,227	
空調衛生設備保守	227,000		227,000	338,702	△ 111,702	
消防設備保守	88,000		88,000	87,596	404	
電気設備保守	76,000		76,000	82,224	△ 6,224	
害虫駆除清掃保守	36,000		36,000	36,012	△ 12	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	1,252,000		1,252,000	820,239	431,761	
共益費	0		0		0	
その他	105,000		105,000	65,668	39,332	
修繕費	1,304,000		1,304,000	769,631	534,369	予算：指定額、追加
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
消費税			0		0	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0	798,044	△ 798,044	
支出合計	22,216,000	575,000	22,791,000	20,381,724	2,409,276	
差引	△ 3,561,430	204,101	△ 3,357,329	960,786	△ 4,318,115	

自主事業費 収入	0	19,000	19,000	21,800	△ 2,800	
自主事業費 支出	390,000		390,000	193,360	196,640	
自主事業 収支	△ 390,000	19,000	△ 371,000	△ 171,560	△ 199,440	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	390,000	0	390,000	0	390,000	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 390,000	0	△ 390,000	0	△ 390,000	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

**【参考資料2-2】 令和6年度「横浜市不老町地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞**

（単位：円）

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	41,446,588	494,477	41,941,065	41,563,065	378,000	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000	0	154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	300,000	0	300,000	300,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,891,773	70,651	5,962,424	5,064,401	898,023	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			△ 1,015,000		△ 1,015,000	
雑入	0	2,209,000	2,209,000	888,065	1,320,935	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
その他	0	2,209,000	2,209,000	888,065	1,320,935	介護保険事業より繰入
その他	△ 1,015,000		△ 1,015,000	△ 1,276,023	261,023	協力医戻入、職員欠員戻入
収入合計	46,777,361	2,774,128	49,551,489	46,693,508	2,857,981	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	42,972,000	0	42,972,000	42,266,201	705,799	包括・生活支援人件費
本俸	30,674,000		30,674,000	30,972,614	△ 298,614	
社会保険料	5,752,000		5,752,000	5,833,382	△ 81,382	
手当計	5,843,000		5,843,000	4,712,565	1,130,435	
健康診断費	30,000		30,000	66,132	△ 36,132	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額	651,000		651,000	681,508	△ 30,508	
その他	22,000		22,000		22,000	
事務費	853,000	0	853,000	1,238,355	△ 385,355	
旅費	2,000		2,000	4,824	△ 2,824	
消耗品費	136,000		136,000	774,161	△ 638,161	
会議贈い費			0	3,802	△ 3,802	
印刷製本費			0		0	
通信費	358,000		358,000	341,336	16,664	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	154,000		154,000	0	154,000	会議用Webカメラ
図書購入費	6,000		6,000	0	6,000	
施設賠償責任保険	20,000		20,000	35,943	△ 15,943	
職員等研修費	51,000		51,000	22,248	28,752	
振込手数料	1,000		1,000		1,000	
リース料	125,000		125,000	9,120	115,880	AEDリース、複合機リース代 他
手数料			0	2,346	△ 2,346	
地域協力費			0	0	0	
その他			0	44,575	△ 44,575	コピーカウンター料・ソフト他保守料・会費等
事業費	739,000	0	739,000	596,423	142,577	
協力医	252,000		252,000	252,000	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	240,000		240,000	63,881	176,119	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	127,000		127,000	112,617	14,383	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	120,000		120,000	64,141	55,859	
その他			0	103,784	△ 103,784	
管理費	1,274,000	0	1,274,000	1,365,584	△ 91,584	
光熱水費	930,000		930,000	918,518	11,482	
清掃費	56,000		56,000	47,732	8,268	
機械整備費	19,000		19,000	19,093	△ 93	
設備保全費	269,000	0	269,000	377,042	△ 108,042	
空調衛生設備保守	60,000		60,000	90,034	△ 30,034	
消防設備保守	23,000		23,000	23,284	△ 284	
電気設備保守	30,000		30,000	21,856	8,144	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	9,572	428	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	146,000		146,000	232,296	△ 86,296	
共益費	0		0	3,199	△ 3,199	
その他			0	0	0	
修繕費	346,000		346,000	204,584	141,416	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	0		0	2,603,010	△ 2,603,010	
支出合計	46,184,000	0	46,184,000	48,274,157	△ 2,090,157	
差引	593,361	2,774,128	3,367,489	△ 1,580,649	4,948,138	

自主事業費 収入	0	0	0	47,940	△ 47,940	
自主事業費 支出	487,000	0	487,000	240,639	246,361	
自主事業 収支	△ 487,000	0	△ 487,000	△ 192,699	△ 294,301	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度 横浜市不老町地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名：横浜市不老町地域ケアプ

年4月1日～ 年3月31日

(単位：千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	13,697	14,948	-1,251	14,352	16,695	-2,343	16,683	5,771	10,912	101,811	89,032	12,779	4,565	4,707	-142
	その他	0	0	0	0	0	0	502	95	407	782	524	258	0	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	受託収入	0	0	0	0	0	0	242	95	147			0	0	0	0
	受取利息配当金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	87	142	-55	0	0	0
	寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25		25	0	0	0
	雑収入	0	0	0	0	0	0	260	0	260	90	145	-55	0	0	0
	その他(補助金収入 等)	0	0	0	0	0	0			0	580	237	343	0	0	0
	収入合計(A)	13,697	14,948	-1,251	14,352	16,695	-2,343	17,185	5,866	11,319	102,593	89,556	13,037	4,565	4,707	-142
支出	人件費	0	0	0	0	0	0	17,622	11,476	6,146	58,559	59,573	-1,014	0	0	0
	事務費	0	0	0	0	0	0	1,224	678	546	8,582	6,584	1,998	0	0	0
	事業費	0	0	0	0	0	0		1	-1	8,512	8,234	278	0	0	0
	管理費	0		0	0	0	0	0		0	7,529	11,745	-4,216	0	0	0
	その他	11,439	12,486	-1,047	12,085	13,918	-1,833	429	0	429	4,890	358	4,532	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0
	消費税(租税公課)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,626		4,626	0	0	0
	介護予防プラン委託料	11,439	12,486	-1,047	12,085	13,918	-1,833	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	429		429	264	264	0	0	0	0
	雑支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		94	-94	0	0	0
	土地・建物賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支出合計(B)	11,439	12,486	-1,047	12,085	13,918	-1,833	19,275	12,155	7,120	88,072	86,494	1,578	0	0	0
収支 (A)－(B)		2,258	2,462	-204	2,267	2,777	-510	-2,090	-6,289	4,199	14,521	3,062	11,459	4,565	4,707	-142

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和6年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることを		4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）		ねらいとした事業		7：その他		

No	事業名	開始 年度	事業	事業の 性質	事業目的	主な 対象者	従たる 対象者 (複数選択 可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施 回数	延べ 参加 人数
1	あったかサロン	平成29年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に 取り組み	「全世代まるごと支援」を掲げ地域の皆さんが気軽に集うことのできるフリースペースとして開催。職種・部門を問わず連携し、事業実施できる場として活用する。	5：地域		・毎月第4木曜日13:30～15:00(変動あり) ・無料（フリードリンク中止）(材料費負担あり) ・多職種連携（生活支援、包括）による講座等の開催 ・多世代、多文化交流、情報提供の機会 ・ボランティア活動機会の提供 ・貸館利用団体の活動発表	11	161
2	子育て支援「あのね」	平成18年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に 取り組み	子育て中の親子に交流の場の提供を行う。また、平成25年度より開始された子育て相談員による子育て相談も行う。子育てで情報の提供や、子育てに関する講座等の開催も実施し、子育て中の支援を行っている。	3：養育者及び乳幼児		・毎月第1、2、4、5月曜日10:00～12:00、14:00～15:30 ・無料 ・10:00～12:00子育て支援者による子育て相談「ぶっくりんこ」(祝日を除く) ・第2週PMおはなし会ちゅりっぷ、第4週PM横浜山手読書会おはなし会	40	755
3	ママリフレッシュ	平成23年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に 取り組み	育児中の母親に対して、ヨガを取り入れた運動を通して、心身をほぐし体調を整えていくことを目的とする。 また交流・情報交換の場とする。	3：養育者及び乳幼児		・第4金曜日10:30～11:30 ・感染予防対策で定員5組（年度内8組まで拡大予定） ・講師によるおやこの触れ合い、ストレッチ、ヨガ ・参加費200円	12	79
4	第6回 不老町ケアプラザまつり	平成30年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に 取り組み	ケアプラザの周知、住民同士の交流、活動発表の機会提供を主な目的とする。 貸館利用団体や子ども食堂、ボランティアの協力で開催する。	5：地域		・11/23祝日 ・貸館利用団体による発表、作品展示 ・ケアプラザの周知、住民同士の交流 ・関係機関との協働 ・ボランティア活動交流機会	1	174
5	ふーさんフードパントリー	令和元年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に 取り組み	子ども食堂の協力で開催し、活動への理解や周知の機会とする。きっかけ作りや交流の場の機会提供を行う。 就B事業所と協力し当事者支援を行う。	5：地域		・年度内3回 ・無料 ・子ども食堂と共催 ・地域作業所と協力し当事者支援 ・食支援団体やRCとの協働	3	134
6	いきいきスマイル塾（介護予防教室等）	令和3年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に 取り組み	地域の高齢者が定期的に外出し機会を作り、自らが継続的に介護予防の活動に取り組むことを目的とします。	1：高齢者		・会場：不老町地域ケアプラザ多目的ホール ・介護予防教室 ・年6回 第3水曜日10時～11時 ・地域指導者によるコグニサイズを中心とした体操	6	80
7	今日からはじめるフレイル予防講座（健康教育・出前講座）	令和3年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に 取り組み	地域高齢者がフレイルについて理解を深め、予防法を学ぶ事が出来るようになること、エリアが広範囲のため、ケアプラザまで来館することが難しい方が多い、多くの方に参加していただくことを目的としています。	1：高齢者		・地域開催のサロン・老人会などに出張し、包括看護職や講師（栄養士・運動指導士・歯科衛生士など）によるフレイル予防講座・体力測定会の開催 ・年3回程度開催予定 5/9くらしの豆学、5/14みんなで元気、5/17寿でい(栄養)、9/2日の出町測定会 10/11ぽっと石打(口腔)2/18シャレール海岸通骨整体操教室（測定会）	6	94
8	オールフレイル予防教室	令和6年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に 取り組み	歯科衛生士によるオールフレイル予防講座。 お口の衰えを意識し3回シリーズの開催により、口腔機能の変化を見ることを目的としています。	1：高齢者		・会場：不老町地域ケアプラザ ・歯科衛生士による講座 ・3回シリーズ 9・10・11月予定	3	24
9	FFY(ふーさんフレイル予防)教室(介護予防教室等)	令和6年度	4：共催（1と2）	1：優先的に 取り組み	理学療法士による介護予防教室。 自身の健康に関心を持ち、日常生活にストレッチ運動を取り入れるきっかけとなることを目的としています。	1：高齢者		・会場：不老町地域ケアプラザ ・理学療法士による講座 2月27日	1	12
10	FFY(ふーさんフレイル予防)教室(介護予防教室等)	令和6年度	4：共催（1と2）	1：優先的に 取り組み	フレイル栄養講座 いつまでも楽しく食事をしてもらうための栄養講座。多くの方に参加してもらうことを目的とします。	1：高齢者		・会場：不老町地域ケアプラザ多目的ホール ・企業（明治株式会社）による栄養講座）6月27日	1	18
11	男の健康くらぶ	令和6年度	4：共催（1と2）	1：優先的に 取り組み	男性を対象をした講座 フレイル予防の重要性を理解してもらう。 男性の介護予防参加率向上・他者との交流を目的とします。	1：高齢者		・会場：不老町地域ケアプラザ ・栄養・口腔・体操の介護予防講座 ・3回シリーズ(7/2/17、12/24)	3	21
12	瓦版 発行	令和2年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に 取り組み	地域活動への後方支援と情報発信。 地域住民との関係性を構築し、地域づくりへの基盤作りとなる。 地域に向けたCP周知。	1：高齢者		・A4カラー一面印刷を近隣の障害者作業所「百合の樹」へ依頼。 ・毎月300部発行 ・地域活動団体や住民に向け配布。	6	0
13	第2回つながる！みんなフェス	令和5年度	5：共催（1と3）	1：優先的に 取り組み	ケアプラザ・日ノ出川公園の周知、来館や利用のきっかけ作りとする。多世代・多文化交流機会創出も目指す。 また高齢者の外出機会、介護予防の啓発、中区地域福祉保健計画のPR、作業所、障がい当事者の活動機会・障がい理解の啓発等としても活用する。	5：地域		・5/11(土)10:30～13:00※雨天時5/25 ・共催：日ノ出川公園 ・会場：日ノ出川公園、manaby横浜関内南口事業所 ・協力：横浜エクセレンス、なか国際交流ラウンジ、ギョウフェリ、ろばの家、manaby横浜関内南口事業所、日産神奈川販売株式会社、中区福祉保健課	1	80

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）				7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
14	第3回 埴地ミニ夏まつり	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	横浜武道館・横浜エクセレンス(バスケットチーム)・ケアプラザの周知機会、情報提供の機会創出。 地域住民へのスポーツの普及推進。地域資源としての連携、協働体制の構築。	5:地域		・7/27(土)10:00～13:00 ・武道館で開催予定。 ・三者で合同共催 ・地域資源が一堂に会し、周知PR ・多文化、多世代交流 ・地域の方が自由に参加できるイベント	1	340
15	介護者のつどい	平成25年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者虐待を未然に防ぐため、養護者のストレス軽減や適切な介護の知識が得られる場をつくり介護者の負担軽減を図る目的で開催する。	1:高齢者		・会場:不老町地域ケアプラザ（年4回開催予定） ・介護者同士で悩みを共有しストレス軽減や気分転換、介護経験者からのアドバイスが受けられる（茶話会形式）	4	17
16	元気なうちに備えましょうネ連続終活講座	令和6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	専門家と連携し終活講座を開催し、自分のことを自分で考えて行動を起こせるうちに将来のことを考えていただくきっかけとする。 サテライト配信を行うことにより、CPまで遠くて来られない方でも受けていただける取り組みをおこなう。	5:地域		本会場:9月本牧和田CP 11月蓑沢CP 1月本牧原CP サテライト会場:中区社協	2	24
17	第2回 チャレンジ！まちピカ	令和5年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	CPや横浜武道館、公園などの市(区)民利用施設のPR。街歩きを兼ねた楽しく参加できるクリーン活動を目指す。 親子で参加できる「まち歩き」によって、「まちを知る」ことに繋がっている。またボランティア団体の活動機会とする。	5:地域		・9/27(土)10:30～12:00 ・日ノ出川公園→大通り公園→横浜武道館→不老町CP→日ノ出川公園 主催:YNBS 協力:日ノ出川公園・横浜エクセレンス・就労移行支援事業所ミライエ・中区地域振興課資源化推進・不老町CP	1	11
18	ほほえみがえし発行回数記載配布数計上記載なし	平成29年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザの周知、情報発信を主な目的として広報誌を発行、配架する。各部署からのトピックを掲載。事業案内も行う。	5:地域		・年6回 奇数月発行 ・広報 ・地福計画のPR企画に不随する事業として実施	6	6
19	キャラバンメイト連絡会	令和1年度	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	地域のキャラバンメイトと連携し、地域で認知症サポーター養成講座を実施することで認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指す。	5:地域		・隔月でキャラバンメイト連絡会を開催し講座の企画、情報共有をおこなう。	3	9
20	親子で楽しむおはなし会ー団体都合で今年度なし	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子で絵本や紙芝居に触れ合う機会を提供する。情報交換や、お友達作りの機会を創出する。(月曜日の「あのね」に参加出来ない親子にも参加してもらえるよう金曜日に設定) ケアプラザの周知、来館のきっかけづくり。	3:養育者及び乳幼児		・団体ボランティアの活動機会。 ・年3回程度 ・無料	0	0
21	不老町地域ケアプラザ出張会	令和3年度	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	地域ケアプラザが身近な相談窓口としてケアプラザを利用していただけるようになることを目的とします。	5:地域		・地域のサロンなどへケアプラザ職員が出向き、ケアプラザや介護保険の制度の説明、見守りキーホルダーの登録会などを不定期に開催 9/24ともえ会(地域ケアプラザについて)11/15青葉会 10/12シャレール海岸通り自治会	3	51
22	健康フェスタ ～健康寿命をのばそう～	令和5年度	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	・地域高齢者が測定会などを通じ身近に介護予防を感じてもらふこと、介護予防の普及啓発を目的としています。8月2日	1:高齢者		・会場:不老町地域ケアプラザ多目的ホール ・企業や区役所・保健活動推進委員・ヘルスメイトさんなど協力のもと測定会などを各ブースで実施 ・地域高齢者が自由に参加できるイベント	1	36
23	ICT推進事業ーあったかサロン3月にて「孫セラビー かんたんスマホ教室」実施	令和4年度	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	地域住民のICT活用を促進する。ICTを活用した事業展開の際、協力いただける人材を育成する。(担当圏域内で)広く住民向けに行うのではなく、個別対応とすることでより効果的に人材育成を実施する。	5:地域		・事前に担い手となり得る方、地域での活動者に個別に声掛けすることで、今後の事業協力への呼びかけを行っていく ・年1回予定	0	0
24	中区民祭り(ハローよこはま)ブース出展	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	中区内地域ケアプラザ共同でブース出展し、地域住民に向けたCP、事業の周知を行う。 R6年度地域活動交流Co担当。防災、こどもホスピスの周知と啓発。	5:地域		・11/10(日)終日 ・会場:象の鼻パーク ・対象:来場者 ・防災、福祉避難所啓発とこどもホスピス啓発&アンケート（回収数を実績計上）	0	0
25	障がいの理解啓発① 第1回みんなでもルック交流	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	自立訓練事業所のPR、認知度向上を目的の一つとし、事業所を会場として実施する。 その他、事業所の地域貢献と地域との交流機会の一歩とする。 夏休み期間に設定し、当事者参加、多世代交流も狙う。	5:地域	2	・8/7(水)10:00～11:30 ・会場:コロールポートカレッジ横浜関内 ・主催:コロールポートカレッジ横浜関内 協力:不老町CP ・事業所の紹介、モルック(インクルーシブスポーツ)での交流	1	10
26	障がいの理解啓発② 自己理解ワークショップ	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	自立訓練事業所と就労移行支援事業所の違いについて、正しく知ってもらう機会とする。 事業所会場とすることで、存在を知ってもらうだけでなく、身近で開かれた場所であることをPRする。 地区の民生委員・主任児童委員と顔の見える関係性構築を後押しする機会とする。	5:地域	2	・9/21(土)14:00～17:00 ・会場:エンパカレッジ横浜関内 ・共催:エンパカレッジ横浜関内、manaby横浜関内南口事業所 ・協力:不老町CP ・2事業所の特徴や強みを活かした地域住民参加型レク、交流。自立訓練事業所と就労移行支援事業所のPR。	1	5
27	ACP研修「もしばなゲーム」	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の介護保険事業を支えるサービス事業所向けにACP講義とグループでもしばなゲームをおこない看取り期や終活支援のスキルアップを目指す。	6:事業者		・会場 不老町CP 多目的ホール	1	30

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）				7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
28	認知症サポーター養成講座	令和元年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	認知症になっても住み慣れた地域で暮らせるよう地域の方に認知症の正しい理解について講座をおこない、認知症サポーターを養成する。	5：地域		年に数回、地域にて認知症サポーター養成講座を実施	2	82
29	第2回山吹公園フェス →地域の意向で支援予定なしの可能性あり	令和5年度	4：共催（1と2）	2：発展させるねらい	町内会活動周知、担い手仲間づくり、地域の交流の場づくりの為、町内会拠点とする警察、県看護協会、消防署のブース協力を得て開催。なか国際交流ラウンジの通訳ボランティア協力により多世代、多文化交流場となる。	5：地域		・11月の土曜日 11:00～15:00 山吹公園にて消防、警察、県看護協会、国際交流ラウンジ等近隣の施設と協働した多世代、多文化交流の場を恒例行事とした第2回。	1	200
30	みんな集まれ！第一地区中部	令和5年度	6：共催（2と3）	2：発展させるねらい	クロスストリートを基幹とした通いの場を、地域が主体的に活動できるよう後方支援。包括介護予防と協力。	5：地域		・地区社協、商店街、保活、民生が協働で主体的に通いの場を継続開催できるようになるまでの後方支援。	3	88
31	おにぎりカフェ	令和5年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	夏休み・冬休みの等の長期休暇中、学校給食がないため、食支援の一環として企画。また、孤食防止、自宅でも自分で食の準備が出来る様、おにぎりを作る機会として設定。家族、学校以外の大人と関わる場所の提供。	4：子ども・青少年		・第1回：夏休み中 ・第2回：冬休み中 ・主催：みなとこども食堂 ・協力：不老町地域ケアプラザ、児童家庭支援センターみなと	2	48
32	障がいの理解啓発③ プログラミング体験会	令和5年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	事業所の強みであるPCスキルを活用し、地域貢献を叶える。会場を事業所に設定することで、参加者に事業所PRを行う。小学生をメインの対象とし、保護者同伴とすることで、障がいの理解啓発促進を狙う。	5：地域	2	・主催：就労移行支援事業所manaby横浜 関内南口事業所 ・年2回程度の開催	3	20
33	障がいの理解啓発④ カードゲームで遊ぼう！ →事業所都合で今年度なし	令和5年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	事業所クルー・OBが活動しているゲーム部の延長として企画。カードゲームを通して多世代、障がい当事者と住民の交流機会を創出。今後は事業所がより主体的に企画していけるよう共催→協力を目指す。	5：地域	2	・年1～2回程度開催予定 ・会場：不老町CP、他	0	0
34	終活講座 「おひとりさまのための任意後見制度」	令和6年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	自己決定支援の一環として、任意後見制度を中心とした成年後見制度についての講座を行い、元氣なうちから自身の将来について考えていただくきっかけをつくる。	5：地域		7/30(火)10:00～12:00 角川税理士	1	14
35	終活講座 「将来のお金のこと」(仮)	令和6年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	生活支援課 生活困窮自立支援担当と連携し、家計相談の観点から今後の生活資金の計画など、将来のことを考えていただくことを目的とする。	5：地域		秋ごろ実施予定。	0	0
36	初黄町防災まちづくり計画	令和5年度	5：共催（1と3）	2：発展させるねらい	初黄町内会独自の防災まちづくり計画をR5～開催。第1回は防災まちさんぼとして実施。第2回となる防災まちさんぼ。防災をきっかけに住民のつながり、仲間づくりができることを目的とした後方支援。	5：地域		・町内会に在住する多世代、多国籍、集合住宅の住民につながるができるきっかけづくり。 令和7年1月25日(土)開催。区防災担当係長講師。	1	42
48	出張のんびりんこ 親子であそぼう 子育てサロンあのね特別バージョンⅣ	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域資源である横浜武道館とケアプラザの周知を主な目的とする。のんびりんこ利用者でもケアプラザをしたことがない方にアプローチする。武道館見学ツアーとプログラムを抱き合わせ、情報提供や交流の場を創出。今年度より企画段階から武道館も参加し、PRのためにアイディア提供をしてもらう。	3：養育者及び乳幼児		・5/27(月)14:00～15:30 ・会場：不老町地域ケアプラザ・横浜武道館 ・共催：のんびりんこ、横浜武道館 ・子育てサロン会場PR ・横浜武道館見学ツアー ・各施設からの情報提供とPR ・親子のふれあい、静動プログラム	1	11
49	初めてのそば打ち体験 ～男の健康くらぶ～	令和5年度	4：共催（1と2）	1：優先的に取り組み	地域の高齢男、外国籍住民を対象とする。蕎麦作りを通じ、男性の介護予防参加率向上・多文化交流を目的とする。そのほか、なか国際交流ラウンジを通じた外国籍住民との交流、特例子会社との連携による障がいの理解啓発と当事者参加の機会を創出する。	5：地域		・12/24(火)終日 ・会場：不老町CP ・協力：(株)OSBS、江津Office、なか国際交流ラウンジ	1	5
50	福祉体験 →職業講話(南吉田小学校)	令和5年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子どもの頃から福祉について学ぶ機会を設ける。体験型の講座を通じ、身近に感じる機会を創るとともに、障がいの理解啓発への足がかりとする。	4：子ども・青少年		・7/9(火)AM ・会場：南吉田小 ・対象：小1 3クラス 「車いすについて」、「車いす体験」	1	75
51	福祉体験 →車いす体験	令和6年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	横浜子子ども会連絡協議会から講師依頼リーダー養成講座の中で、1時間程の福祉教育を実施。今年は車いす体験を希望。説明・クイズ・体験を通して身近に感じ考える機会とする。	4：子ども・青少年		・R7.1.19(日)11:00～12:00 ・会場：横浜市青少年育成センター ・対象：市子ども会連絡協議会リーダー養成講座受講生(小中学生・大学生・大人) 「車いすについて」、「車いす体験」	1	19
52	こどもホスピス うみとそらのおうちってどんなところ？	令和6年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	田川氏に出会ったのを機に、横浜市金沢区にある「こどもホスピス」の周知啓発の機会を設ける。ハロよこでの周知から講演会まで、区内地域COの協力で実施。これをベースに学齢期向けにも周知できるような取り組みを検討する足掛かり。	5：地域		・R7.2.15(土)13:30～15:00 ・本会場：麦田CP ・サテライト会場：本牧和田CP ・対象：どなたでも ・こどもホスピスの周知	1	28